

平成31年度

学校自己評価表(結果)

学校運営計画		
学校運営方針	「自主自律」「求真窮理」「協調責任」「誠実感謝」の精神の下、個性豊かな社会人の育成をめざし、全人的教育を推進するため、以下を実現するべく学校を運営する。 (1)主体的に学問を追究しようとする生徒を育てる学校 (2)佐渡から世界へと視野を広げる生徒を育てる学校 (3)佐渡の発展に貢献できる生徒を育てる学校 (4)生徒が安心して学び、生活することができる学校	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的な目標(能力の育成) 具体的な取組(方策は各分掌で設定)
ICTの活用等の授業改善及び授業力向上に取り組み、生徒の授業評価は高まってきた。生徒の進路希望の達成において、医学部医学科や難関国公立大学への進学者が出るなど成果を上げたが、目標とした国公立大学及び難関私立大学合格者75名には届かなかった。 ここ数年二桁を超えていた在籍異動数を半減させたが、依然として学校不適応等による転退学があるため、特別支援教育推進体制の充実やスクールカウンセラーの活用等の教育相談の充実と教員の対応力向上を進めていく。 また、生徒指導においては生徒の規範意識も向上し、大きな問題行動の発生はなかったが、いじめの認知件数は3件あった。今後、いじめ見逃しゼロを目指した体制の整備を図る。	(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施
	(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な学習の時間等におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施
	(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的な生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協同活動への参加
	(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・総合的な学習の時間等における探究活動・職業講話の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立
【今年度の目標】 ○いじめ見逃しゼロに向けたいじめ対策体制、いじめ対応マニュアルの整備 ○新たな学習指導要領に向けた教育課程の策定 ○国公立大学合格者数延べ50人以上または国公立大学進学者の対卒業業者数比率25%以上		

【教務部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	シラバスを作成し、より効果的な授業展開を研究する。	A	A
		個々の生徒に対して学力向上の指導を実施し、一層の学力定着を図る。	A	
		指導力向上のための研修を実施し、職員個々人の研鑽を図る。	B	
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路指導の充実と進路シラバスの実施 ・総合的な学習の時間におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施	個別面談を実施しやすい行事・時程等の環境の工夫。	B	A
		総合学習委員会等、各分掌と連携し、活動を充実させるとともに生徒の学習しやすい環境を整える。	A	
		各種奨学金等、進路実現のサポートを行う。	A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的な生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協同活動への参加	チャイムにより生徒が整然と行動できる環境を作る。	A	A
		ボランティア活動の案内を実施し、生徒が積極的に参加できる環境を整える。	A	
		教具・教材等の充実を図り、指導を行いやすい環境を整える。	B	
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・総合学習における探究活動及び職業講話の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合学習委員会等、各分掌と連携し、探求活動や職業講話・道徳教育等の時間を確保する。	B	A
		生徒会との連携により、各種行事の充実を図る	A	

【進路指導部】

重点目標	具体的目標 能力の育成	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施 ・生徒会行事・部活動の充実	学習記録表などを用いて家庭学習時間を確認する。	A	A
		放課後補習や長期休業中の補習を実施する。	A	
		大学講義体験や看護・介護体験などを実施する。	A	
		大学教授・予備校講師による進路講演会を実施する。	B	
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・進路指導シラバスの実施 ・個別面談・進路相談の充実 ・総合的な学習の時間におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施	学年会や職員会議で進路シラバスを確認し、共通理解を図る。	A	A
		進路状況調査を実施し、生徒の多様化する進路希望を確認する。	A	
		全国模試などの分析を行い、各学年の現状理解を図る。	A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行 ・意見の発信 ・基本的な生活習慣や規範意識の確立 ・ボランティアなどの協同活動への参加	集中学習や学習合宿を実施する。	A	A
		進学・就職の面接指導を実施する。	A	
		進学・就職の小論文指導を実施する。	A	
(4)郷土の歴史・文化・自然・産業技術等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解・自己管理能力の育成】 ・総合的な学習の時間における探究活動・職業講話の実施 ・ルール・マナーの遵守 ・学習と部活動の両立	適性検査などを用いて自己理解を図る。	A	A
		全国模試を実施する。	A	

【生徒指導保健】

重点目標	具体的目標 能力の育成	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施 ・生徒会行事・部活動の充実	朝の校門立番指導を通年で行い、遅刻の減少、朝学習の心構えを醸成する。	A	A
		健康調査・健康診断・健康観察により、生徒情報を把握し、授業に全力で取り組めるよう支援する。	A	
		清掃指導を強化し、好ましい学習環境をつくる。	A	
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・進路指導シラバスの実施 ・個別面談・進路相談の充実 ・総合的な学習の時間におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施	いじめアンケートを実施し、問題の早期発見・早期解決を図る。	A	A
		スクールカウンセラーと協力し、生徒の悩みや問題解決への援助を行う。	B	
		教育相談や特別支援教育の体制を整え、支援を必要とする生徒に対応する。	A	
		個別支援シートを活用し、問題を抱えた生徒の情報共有、対応を図る。	A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行 ・意見の発信 ・基本的な生活習慣や規範意識の確立 ・ボランティアなどの協同活動への参加	年3回の頭髪服装検査を行い、全員合格を目指す。	A	A
		長期休業前に注意喚起を行い、問題行動を未然に防ぐ。	A	
		交通街頭指導を年2回行い、交通マナー・挨拶の改善を図る。	A	
		保健指導を行い、健康管理を積極的に行う意識を啓発する。	A	
(4)郷土の歴史・文化・自然・産業技術等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解・自己管理能力の育成】 ・総合的な学習の時間における探究活動・職業講話の実施 ・ルール・マナーの遵守 ・学習と部活動の両立	生活委員・保健委員を指揮し、活動の活性化を図る。	B	A
		避難訓練を通して防災意識を高める。	A	
		携帯安全教室を実施し、携帯電話トラブルの減少を目指す。	A	
		交通講話を実施し、事故防止と交通マナーの遵守を図る。	A	
		外部機関と連携し、生徒への薬物乱用防止講演会を行う。	A	

【特活】

重点目標	具体的目標 能力の育成	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】	各部活動や大会参加を通じて技能及び精神力の向上と、努力することの大切さを学ばせる。	A	A
	・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施 ・生徒会行事・部活動の充実			
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】	生徒会諸行事に主体的に取り組むことを通じて、自発性・協調性・責任感などを身につけさせる。	A	A
	・進路指導シラバスの実施 ・個別面談・進路相談の充実 ・総合的な学習の時間におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施			
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】	佐高新聞の編集・発行を通じて、様々な情報の発信能力を高めるとともに、学校としての一体感や情報の共有を図る。	A	A
	・挨拶の励行 ・意見の発信 ・基本的な生活習慣や規範意識の確立 ・ボランティアなどの協同活動への参加			
(4)郷土の歴史・文化・自然・産業技術等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解・自己管理能力の育成】	校外の方々との交流を通じて、地域とのつながりや国際的視野を広げ、引いては自己理解を深めさせる。	B	B
	・総合的な学習の時間における探究活動・職業講話の実施 ・ルール・マナーの遵守 ・学習と部活動の両立			

【渉外】

重点目標	具体的目標 能力の育成	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】	会報や会合を通して、学校行事の様子や部活動の成績を保護者や同窓生に周知させる。	A	A
	・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施 ・生徒会行事・部活動の充実			
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】	会報や会合を通して、佐渡高校独自の教育活動を周知させる。	A	A
	・進路指導シラバスの実施 ・個別面談・進路相談の充実 ・総合的な学習の時間におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施			
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】	会報や会合を通して、佐渡高校生が基本的な生活習慣をきちんと身につけていることを周知する。	A	A
	・挨拶の励行 ・意見の発信 ・基本的な生活習慣や規範意識の確立 ・ボランティアなどの協同活動への参加			
(4)郷土の歴史・文化・自然・産業技術等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解・自己管理能力の育成】	総合学習やサステイナビリティの活動に、佐渡高校の生徒が積極的に参加し、佐渡の将来について深く考えていることを会報や会合などを通じて周知する。	A	A
	・総合的な学習の時間における探究活動・職業講話の実施 ・ルール・マナーの遵守 ・学習と部活動の両立			

【図書情報】

学番 78 県立佐渡高等学校

重点目標	具体的目標 能力の育成	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】	ICTを用いた授業力向上を目的とした、電子黒板等に関する研修会を実施する。	A	A	
	【未来を切り拓く能力の育成】	生徒の進路実現のための図書の購入と周知。	A		
		小論文指導に関する図書の整備。	A		
		【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】	学校HPを随時更新し、生徒の活動の様子を校外に発信する。		A
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	・進路指導シラバスの実施 ・個別面談・進路相談の充実 ・総合的な学習の時間におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施			A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	・挨拶の励行 ・意見の発信 ・基本的な生活習慣や規範意識の確立 ・ボランティアなどの協同活動への参加			A	
(4)郷土の歴史・文化・自然・産業技術等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解・自己管理能力の育成】	適切な図書館の使い方をオリエンテーションにて指導する。	A	A	
	・総合的な学習の時間における探究活動・職業講話の実施 ・ルール・マナーの遵守 ・学習と部活動の両立				

【1学年】

重点目標	具体的目標 能力の育成	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施 ・生徒会行事・部活動の充実	課題提出状況を確認し、課題未提出者への指導を行う。	A	A
		ICTを活用し、より理解しやすい授業を行う。	A	
		進学希望者向けと不振者向けの補習を実施する。	A	
		学校行事へ積極的に参加し、充実した学校生活を送る。	A	
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・進路指導シラバスの実施 ・個別面談・進路相談の充実 ・総合的な学習の時間におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。	A	A
		放課後等の時間を利用し、学期に1度以上の面談を行う。	A	
		適性テストなどで自己理解を深め、職業講話などを通じて多様な職業を知る。	A	
		グループで「佐渡を知る・考える」探究活動を行う。	A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行 ・意見の発信 ・基本的な生活習慣や規範意識の確立 ・ボランティアなどの協同活動への参加	挨拶を大切に、人と関わる機会をもたせる。	A	A
		総合学習や各教科と連携し、意見等の発信の場を設定する。	A	
		学年集会、LHR等で基本的な生活習慣や規範意識について指導する。	A	
		ボランティア活動を学年集会等で周知徹底し、積極的活動参加を促す。	B	
(4)郷土の歴史・文化・自然・産業技術等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解・自己管理能力の育成】 ・総合的な学習の時間における探究活動・職業講話の実施 ・ルール・マナーの遵守 ・学習と部活動の両立	適性テストなどで自己理解を深め、職業講話などを通じて多様な職業を知る。	A	A
		グループで「佐渡を知る・考える」探究活動を行う。	A	
		学年集会、LHR等でルール・マナーを遵守することの大切さを理解させる。	A	
		学習と部活動での成長効果を理解させ、積極的に取り組むような指導を徹底して行う。	A	

【2学年】

学番 78 県立佐渡高等学校

重点目標	具体的目標 能力の育成	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】				
	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の定着 授業の充実 各種個別指導の実施 生徒会行事・部活動の充実 	学習時間調査を行うことで、日々の振り返りをする。	A	A	
		サテラインの計画・実施を確実にを行い、字音をサポートする。	A		
		課題提出状況を確認して、課題未提出者への指導を行う。	B		
		進学向けと不振者向けの補習を実施する。	A		
	【未来を切り拓く能力の育成】				
	(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導シラバスの実施 個別面談・進路相談の充実 総合的な学習の時間におけるキャリア教育充実 探究活動やサステナビリティ学の実施 	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。	A	A
			必要に応じて個別面談や進路面談を行う。	A	
			進路講演会の実施により、自分の進路について考える。	A	
			総合学習を通じて異文化比較をして、佐渡の良さを知る。	A	
	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】				
	(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行 意見の発信 基本的な生活習慣や規範意識の確立 ボランティアなどの協同活動への参加 	明るい挨拶により、コミュニケーション能力を育てる。	A	A
授業やHR等で自分の意見を伝える能力を育てる。			A		
能率手帳を活用して、自己管理を行う。			B		
学級活動への参加を促して、仲間と協力して活動を行う。			A		
【自己理解・自己管理能力の育成】					
(4)郷土の歴史・文化・自然・産業技術等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間における探究活動・職業講話の実施 ルール・マナーの遵守 学習と部活動の両立 	修学旅行を通じて、異文化理解を深める。	A	A	
		朝読書・朝学習を実施して、静かに学習する雰囲気をつくる。	A		
		能率手帳を活用して、自己管理を行う。	B		
		課題の調整を行い、部活動との両立を図る。	A		

【3学年】

重点目標	具体的目標 能力の育成	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】				
	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の定着 授業の充実 各種個別指導の実施 生徒会行事・部活動の充実 	土日・祭日の課題提出や集中学習・学習合宿への参加を促す。	A	A	
		電子黒板の活用や学習内容を精選し、質、量ともに高める。	A		
		難関大志望者に対してサテラインの受講・教科別添削指導を促す。	A		
		学校行事、部活動に積極的に参加させる。	B		
	【未来を切り拓く能力の育成】				
	(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導シラバスの実施 個別面談・進路相談の充実 総合的な学習の時間におけるキャリア教育充実 探究活動やサステナビリティ学の実施 	月ごとの進路シラバスの内容を理解し、それにそって指導にあたる。	A	B
			担副で協力し、必要に応じて適宜、個別面談・進路相談を行う。	B	
			総合を通じて学問的探究活動と合わせ進路希望を明確化させる。	B	
			探究活動やサステナビリティ関連の活動を通して得た経験を自己の進路実現に生かすよう促す。	B	
	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】				
	(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行 意見の発信 基本的な生活習慣や規範意識の確立 ボランティアなどの協同活動への参加 	挨拶を大切にし、よりよい人間関係の構築に努めさせる。	A	A
授業・総合の場を通じて、自分の意見を発信する大切さを認識させる。			B		
最上級生としてふさわしい生活態度で学校生活を送らせる。			A		
地域・島内行事などの協同活動に積極的に参加するよう促す。			A		
【自己理解・自己管理能力の育成】					
(4)郷土の歴史・文化・自然・産業技術等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間における探究活動・職業講話の実施 ルール・マナーの遵守 学習と部活動の両立 	総合の時間や模試の結果を踏まえ、進路希望実現のために、反省点を次に生かさせる促す。	A	A	
		期限直前に出すのではなく、早めに書類提出する習慣をつけさせる。	B		
		部活動中でも学習との両立に努めさせる。また、部活引退後は切り替えを徹底させ、学習に集中させる。	A		
成果		ICTの活用等の授業改善及び授業力向上に取り組み、生徒の授業評価は高まってきた。生徒の進路希望の達成において、医学部医学科や難関国公立大学への進学者が出るなど成果を上げたが、目標とした国公立大学及び難関私立大学合格者75名には届かなかった。 ここ数年在籍異動が二桁を超えていたのを半減させたが、依然として学校不適應等による転退学があるため、特別支援教育推進体制の充実やスクールカウンセラーの活用等の教育相談の充実と教員の対応力向上を進めていく。また、生徒指導においては生徒の規範意識も向上し、大きな問題行動の発生はなかったが、いじめの認知件数は3件あった。今後、いじめ見逃しゼロを目指した体制整備を図っていく。	総合評価	A	